



2025.02.名瀬保健所

<感染性胃腸炎について>

・感染性胃腸炎とは？

細菌やウイルスなどの病原体を原因とする胃腸炎の総称です。

毎年、秋から冬にかけて流行します。原因となるウイルスには、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」等があり、主な症状は腹痛・下痢、嘔吐、発熱です。

・どのように感染するの？

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、感染者の嘔吐物や糞便を介して人から人へ感染する場合と、ウイルスに汚染した食品を介しておこる経口感染があります。

<例>

- ◆ **感染した人の便や吐物に触れた手指を介して、ノロウイルスが口に入った場合**
- ◆ ノロウイルスを内臓に取り込んだカキやシジミなどの二枚貝を、生で又は不十分な加熱処理で食べた場合
- ◆ **感染した人が十分に手を洗わずに調理した食品を食べた場合等**

・感染予防のポイントは？

- ① 感染性胃腸炎の主な原因となるウイルスは**アルコール消毒の効果が乏しい**ため、まず**一人ひとりが手洗いをきちんと行うことが大切**です。特に**排便後、調理や食事の前には、その都度、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。**
- ② カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。
(中心温度 85~90℃で 90 秒間以上の加熱 * が必要です。)
*参考資料：「大量調理施設衛生管理マニュアル」(厚生労働省)より
- ③ **吐物やふん便は、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系の漂白剤)を使用し、適切に処理しましょう。**
- ④ **吐物やふん便を処理する際は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。**

・感染性胃腸炎の治療は？

ウイルスを原因とする感染性胃腸炎には特別な治療方法はなく、つらい症状を軽減するための処置(対症療法)が行われます。**乳幼児や高齢者では下痢等による脱水症状を生じることがありますので、早めに医療機関を受診することが大切です。**